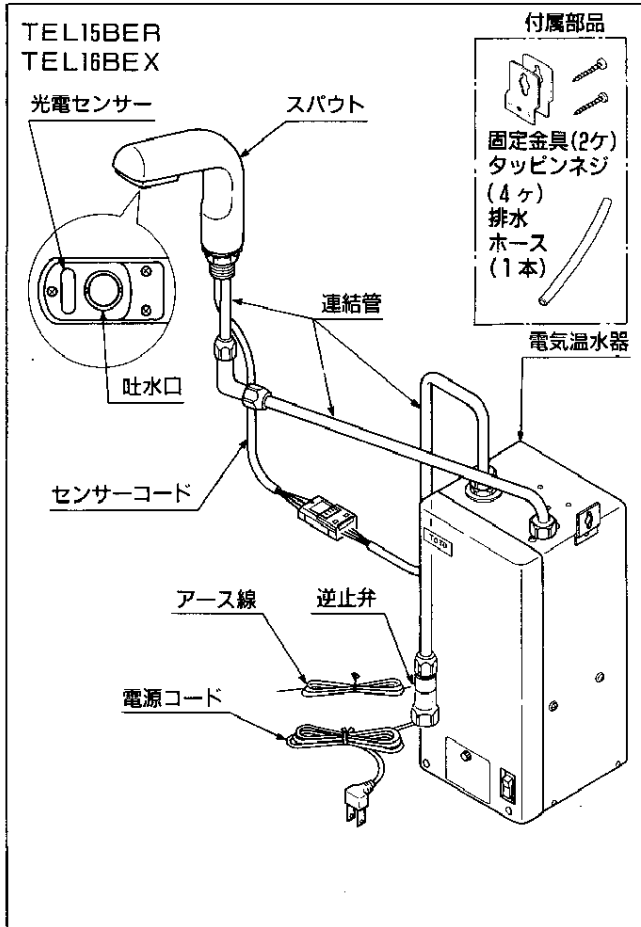


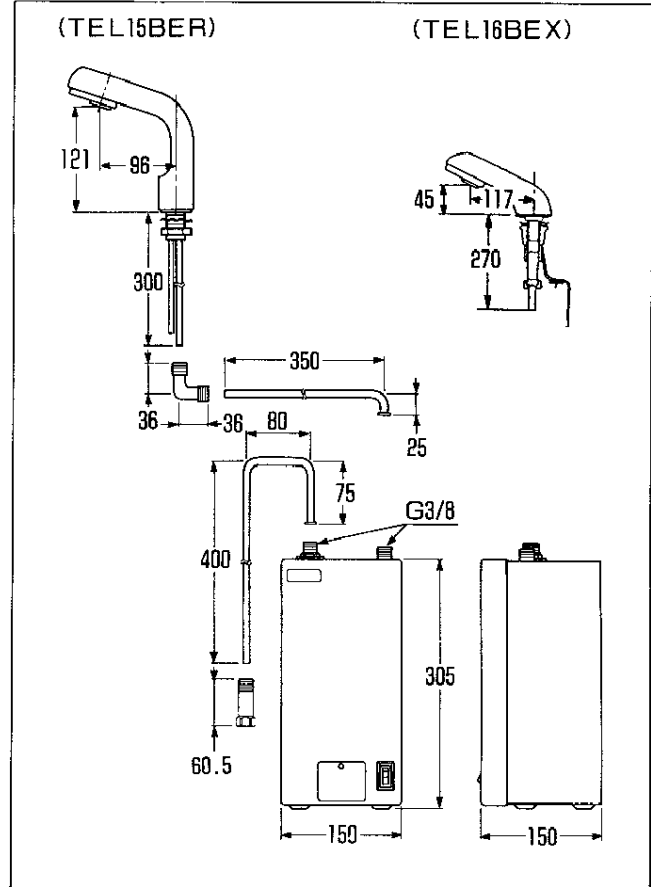
手洗器用自動水栓・電気温水器内蔵タイプ 取付説明書

仕 様

電気温水器内蔵タイプ



製 品 寸 法 図



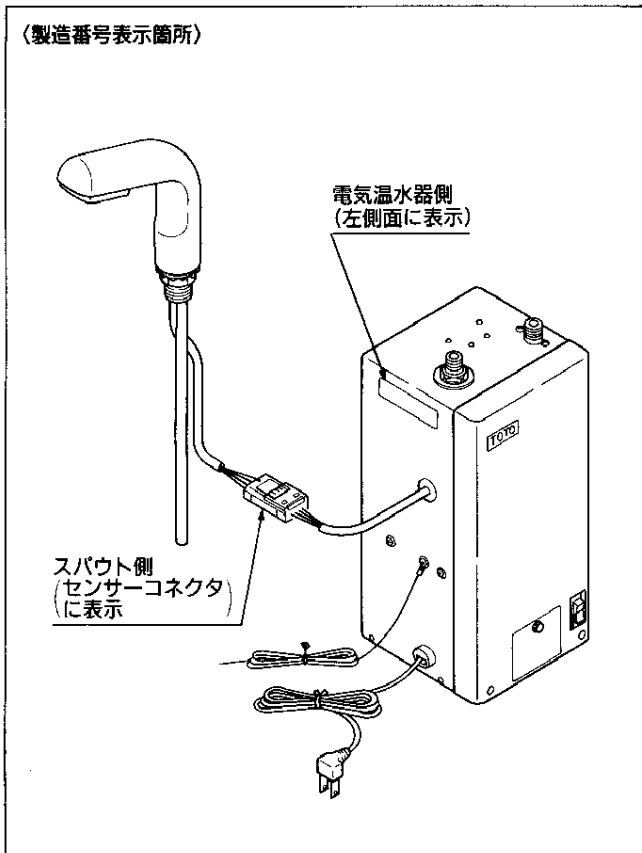
取 付 け 前 に

1. 電気製品ですので、水がかかったり、表面に結露を生じやすいような湿気が多い場所での使用は避けてください。故障の原因になりますので特に、浴室内では使用しないでください。
2. 電気工事の必要な場合は必ず電気工事店に依頼してください。電源は交流100V(50/60Hz)、最高消費電力は500Wです。必ずこれに適した配線をしてください。
3. 温風機の無いフロアキャビネットの場合は、別売のコンセントふた(LOM23)をお求めください。
4. アースは、第3種接地工事(100Ω以下)を行ってください。
5. 給水範囲は、0.5~7.5kgf/cm²です。この圧力範囲でご使用ください。
6. 給水は、上水道に接続してください。中水道及び異物を多く含む水には使用できません。
7. センサー面は傷つけないよう十分ご注意ください。
8. 光電センサーの感知距離は駆動部と一対で調整していますので、必ず付属のスパウトと駆動部を組合わせてご使用ください。(製造番号は同一です)

項 目	内 容
電 源	電 圧 AC100V、50/60Hz(共通)
	消費電力 約500W
電 源 コ ー ド	1.1m
タ ン ク 容 量	1.5ℓ
沸 上 がり 時 間 (入水温約15℃→38℃)	約5分
製 品 寸 法	150mm(幅)×150mm(奥行)×305mm(高さ)
給 水 方 式	元止め式
沸 上 がり 温 度	約38℃
安 全 装 置	温度過昇防止器(手動復帰式バイメタル)
給水圧力	最低必要水圧 0.5kgf/cm ² (流動時)
	最高水圧 7.5kgf/cm ²
周囲使用温度範囲	0~40℃
周囲使用湿度範囲	90%RH以下

9. 手洗器への取付けは、まず取付可能手洗器であることを確認してください。(“標準施工図”の項を参照ください)

(注) 取付可能手洗器一覧表に記載されていない手洗器への取付けは誤動作することがあり、使用できません。



別売品

・RHE1

脚(4本) 固定金具 木ねじ

アジャスタ

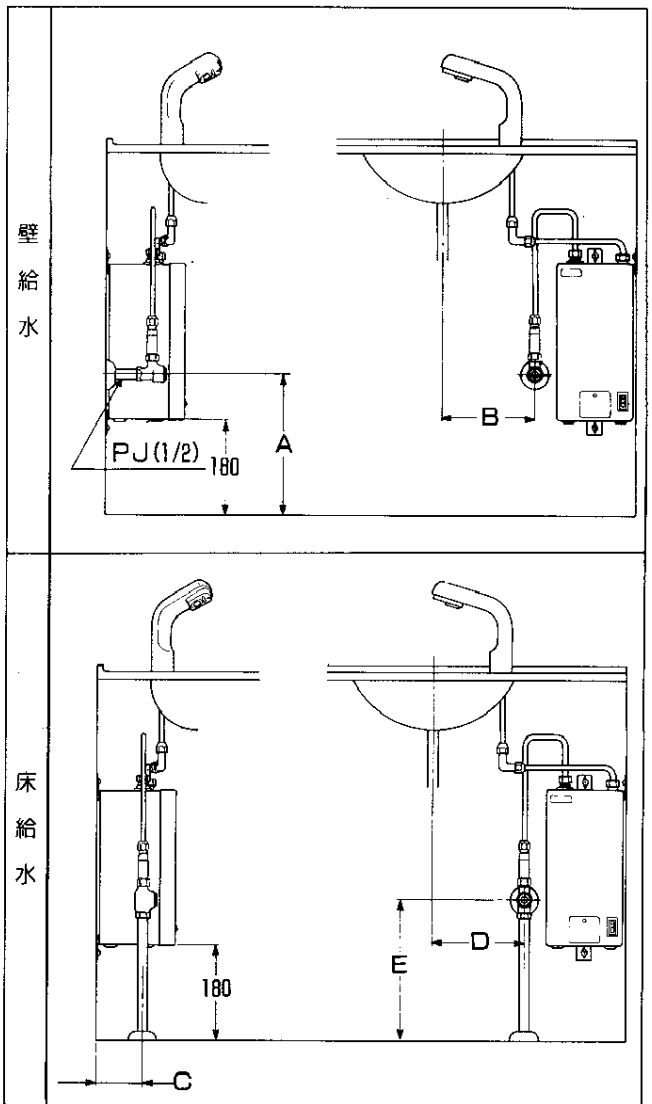
55+10

(2個) (4本)

*フロアキャビネット以外 床置きする場合必要となります。

標準施工図

(注) 陶器の寸法により、取付寸法が異なります。詳細は、次表を参考の上取付けてください。キャビネットタイプの給水取出し位置につきましては、フロアキャビネット取付説明書で確認ください。



必要別売品

給水配管およびキャビネットの種類により各々専用の給水栓(ストレーナ付止水栓)が必要となりますので、次の表を参考のうえ取付けを行ってください。(別売)

手洗器品番	仕様		ストレーナ付止水栓	
			床給水	壁給水
L 592	キャビネットタイプ	600サイズ	TL348C1	
		800サイズ		
	キャビネット無			
L 813 (テリシア)	キャビネットタイプ	600サイズ	TL348C	TL347C
		800サイズ		
	キャビネット無			
L 832 (ロマンシア)	ニースペース板有			
	ニースペース板無			

お手入れ

器具がいつまでも美しさを保つように、お客様にお手入れ方法をご指導ください。なお、お手入れ方法は“ご愛用のしおり”をご覧ください。

取付可能手洗器及び給水位置

水栓金具	TEL16BEX	TEL15BER	
手洗器	L 592	L 813	L 832
カウンター	ML 43 ML 42 ML 40	ML 47 ML 46 ML 44	ML 81 ML 80
寸法			
A	300	300	300
B	0	0	60
C	95	95	95
D	170	170	60
E	280	280	280

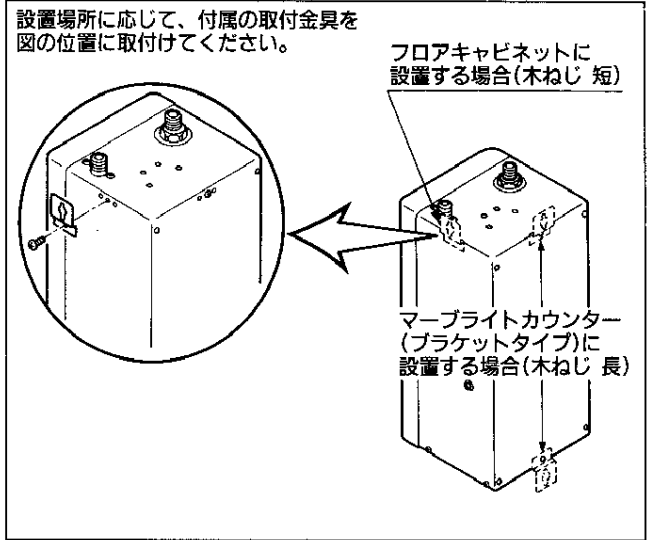
ストレーナの掃除

ストレーナがつまると吐水量が少なくなり、十分な機能が発揮されなくなります。器具取付後は、必ずストレーナを掃除してください。また、お客様にもときどき掃除していただくようにご指導ください。

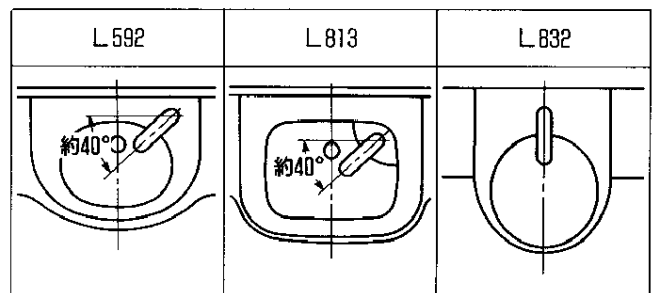
(注) ストレーナを取外す時は、付属の開閉工具で止水栓を閉めた後、ストレーナふたを外してください。

器具の取付け

1. 電気温水器本体を設置します。この時、設置場所に応じて、付属の取付金具を図の位置に取付けてください。

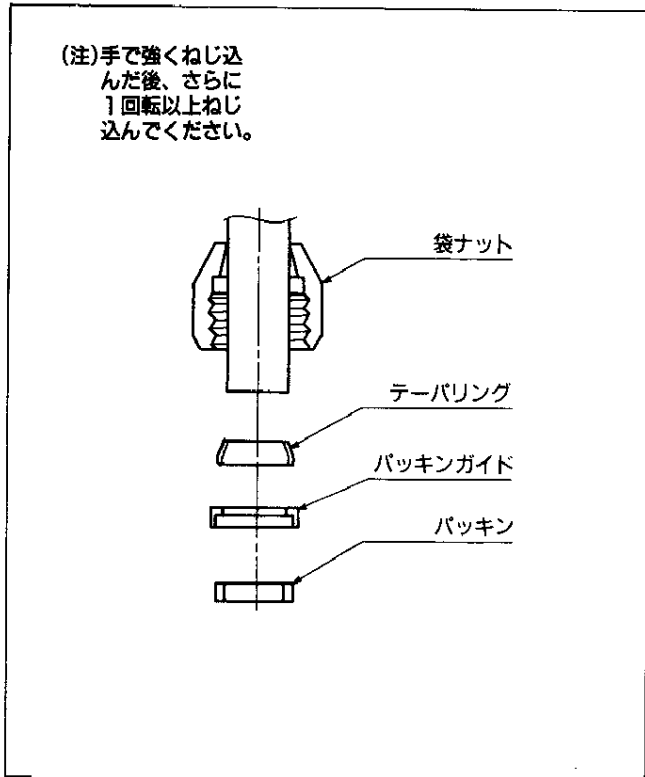


2. 陶器穴(もしくはカウンター穴)にセンサーコードを通し、スパウトをナットで仮固定してください。
 3. 給水栓(ストレーナ付止水栓…別売)を取付けてください。
 4. 給水栓の止水栓部に逆止弁を取付けてください。
 5. 給水口連結管を逆止弁と電気温水器給水口に接続するために連結管の逆止弁側を必要な長さに切断してください。このとき接続口への差込み代を約20mm以上確保してください。
- (注) 連結管を切断したあと、必ず水洗いにより、切り粉を削除してください。
6. 給水口連結管に図のように部品を入れ接続してください。
 7. 出湯口連結管とスパウト連結管とをエルボを用いて接続するために必要な長さに切断してください。
 8. スパウトを本固定してください。
- (注) スパウトを固定する際は、下図を参考に取付けてください。方向が不適切な場合は陶器面を誤感知する原因になりますので十分に注意してください。



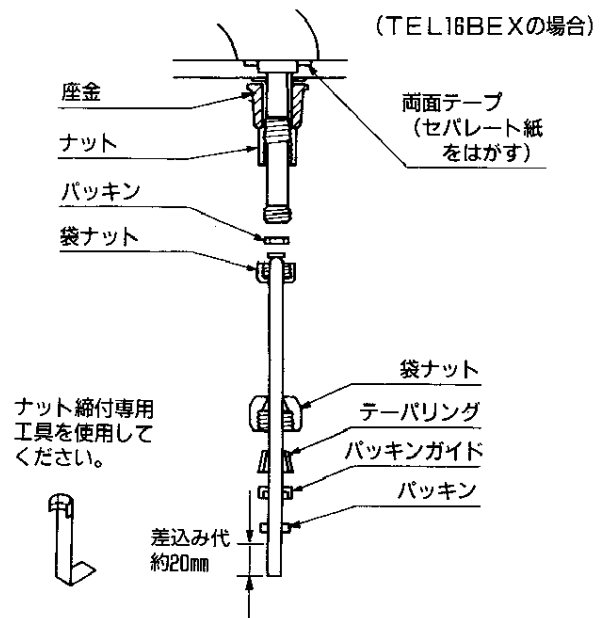
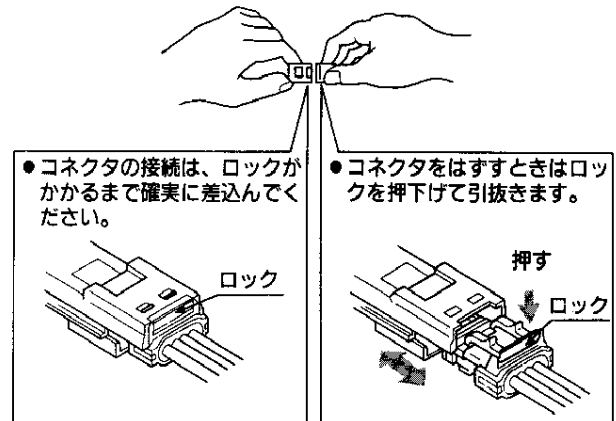
(注) スパウトを固定するときは、取付穴周囲の汚れをとり、セバレート紙をはがしてください。また、固定には別売のナット締付専用工具を利用して確実に締付けてください。〈専用工具品番〉: TZ37 (TEL15BER用) TZ15N (TEL16BEX用)

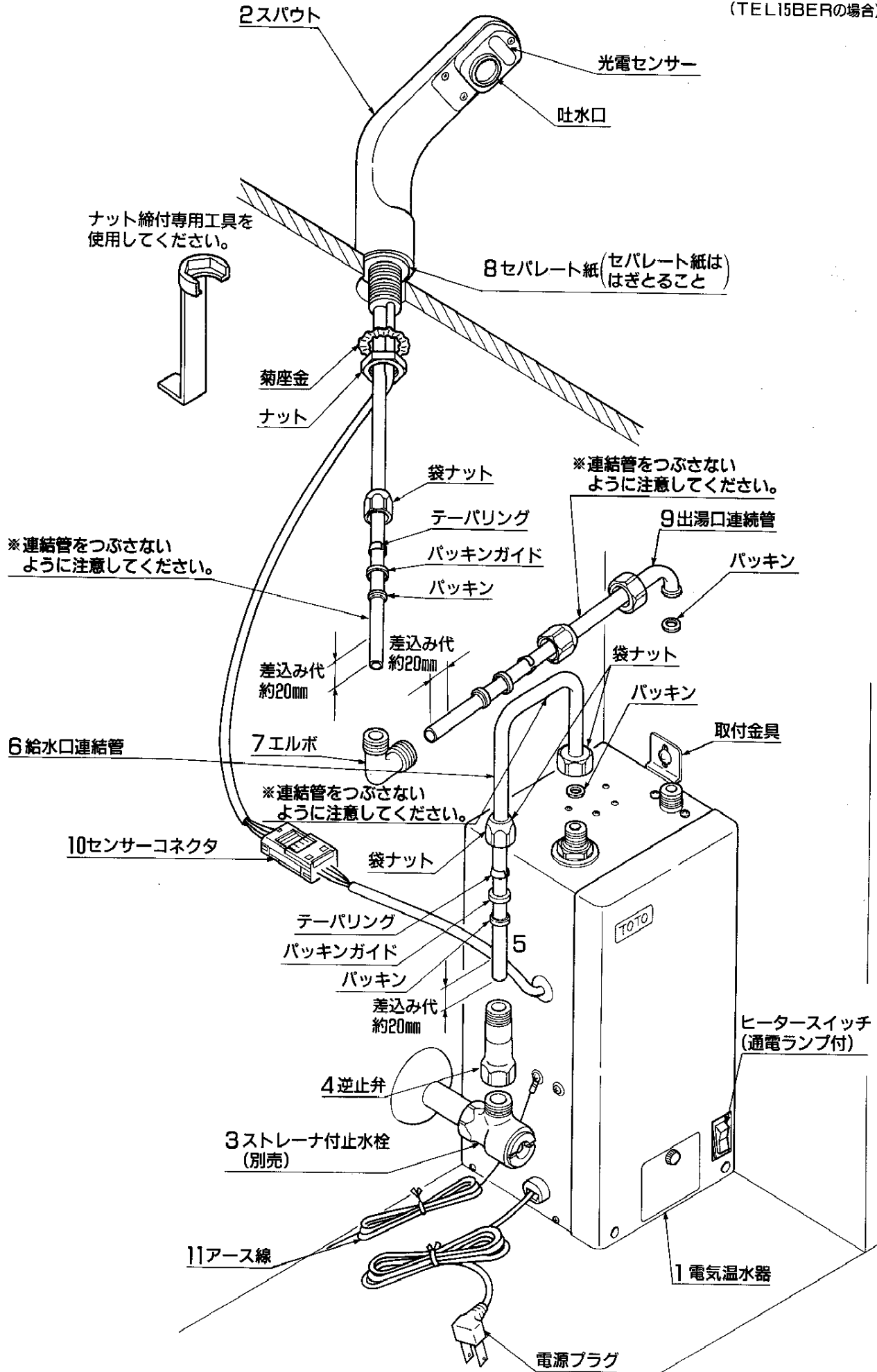
9. 出湯口連結管とスパウト連結管を接続してください。
 (注)パッキン・パッキンガイド・テーパリングは必ず図の向きに入れてください。



10. センサーコードのコネクタと駆動部のセンサー用コネクタを接続します。
 (注)コネクタの接続は、ロックが確実にかかるまで、差込んでください。
 11. アース線をアースターミナルに接続してください。

コネクタの抜き差し要領





試 運 転

タンクが空の状態ではヒータースイッチを「入」にすると、空だきとなり、漏水及び故障の原因になります。

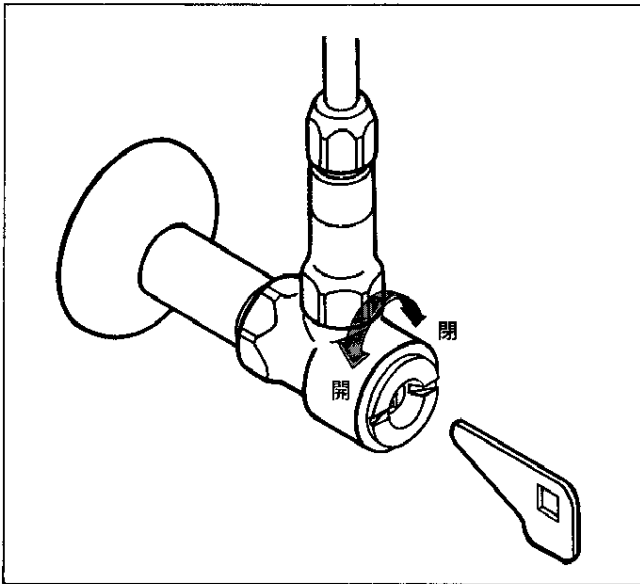
以下の手順にしたがって試運転を行って

1. 通水の確認

- (1) ヒータースイッチが「切」であることを確認してください。
- (2) 電源プラグをAC100V(50/60Hz)のコンセントに確実に差込んでください。
- (3) ストレーナ付止水栓を開いてください。
- (4) 手を吐水口に近づけ光電センサーに感知させ、20秒程度お待ちください。
吐水口から水が出はじめるとタンクが満水になったことを示します。(通水の確認)

2. 吐水量の調節

吐水量が5ℓ/min程度になるように付属の開閉工具でストレーナ付止水栓を回して、吐水量を調節してください。



(注) 約200mlの容器(牛乳ビン等)が2~3秒でいっぱいになるのを目安にしてください。

3. 通電の確認

- (1) ヒータースイッチを「入」にしてください。
- (2) 内部が水のととき通電ランプが点灯すれば正常です。
- (3) 沸上がるまでには約5分かかります。
(入水温度約15℃の場合)
- (4) 沸上がると通電ランプは消灯します。

工 事 店 様 へ

1. 施工が終わったら必ず各接続部から漏水の無いことを確認してください。
2. お客様に引き渡す前に凍結のおそれがあるときは、止水栓を閉め、電気温水器内の水抜きをしておいてください。
3. お客様に「ご愛用のしおり」の使用方法、日常の点検・手入れなどについて十分ご説明ください。
4. 特に次のことについては十分にご説明ください。
 - (1) タンク内が空のとき、絶対に通電しないこと。
 - (2) 吐水口を絶対にふさがないこと。
 - (3) 沸上がる途中では吐水口から湯が滴下しますが、これはタンク内の水が膨張するため故障ではないこと。
 - (4) 凍結予防のための使用方法
- (5) 冬期使用時、最初に冷たい水が出ることがありますが、これは配管内に残水があるため故障ではないこと。